

講演会(お茶の水地理学会主催 お茶の水学術事業会共催)

最近の自然災害の動向と 地理学における災害への取り組み

熊木洋太氏 (専修大学文学部環境地理学科教授)

2019年12月7日(土)14:00~16:00 お茶の水女子大学 共通講義棟2号館 101



自然災害による被害を受けやすい場所、受けにくい場所とは？

昨今、集中豪雨や地震などの自然災害が地球規模で多発しています。洪水や土砂崩れなどの被害を受けやすい場所、受けにくい場所は、あるのでしょうか？そして、それを知ることはできるのでしょうか？地理学分野では、航空レーザー測量・UAV（ドローン）ウェブGISなど、新しい技術を活用した災害の調査・研究が進められています。また、日本地理学会では20年前に災害対応委員会を発足させ、ハザードマップのあり方などについても議論が積み重ねられています。

防災地理学をご専門とされる熊木洋太先生に地理学的視点から、お話しいただきます。

<講師紹介>

東京大学理学部で地理学を専攻。大学院修士課程修了後建設省入省。国土地理院、九州地方建設局、国土庁、科学技術庁に勤務。

2007年に国土地理院地理地殻活動研究センター長にて退官、専修大学教授就任。

- ・政府の地震調査研究推進本部専門委員・地震調査委員会委員（1998年～2007年）
- ・日本地理学会災害対応委員会委員長（2012年～2016年）
- ・日本活断層学会会長（2016年～2018年）

主な著書（いずれも一部を分担執筆）

- ・鈴木康弘編（2015）「防災・減災につなげるハザードマップの活かし方」 岩波書店。
- ・日本地形学連合編（2017）「地形の辞典」 朝倉書店。
- ・中井 仁監修（2018）「教育現場の防災読本」 京都大学学術出版会。



☆どなたでもご参加いただけます。【入場無料・要予約】

☆当日は身分証明書をご持参の上、大学正門よりお入りください（東京メトロ丸ノ内線「茗荷谷」駅より徒歩7分）。

☆葉書かE-mailで下記まで、氏名・住所・電話番号を明記し、お申し込みください。【11月22日消印有効】

112-8610 文京区大塚2-1-1 お茶の水女子大学 文教育学部地理学コース内 お茶の水地理学会事務局

Email:chiriog@yahoo.co.jp